

第 85 回 (9/11) 岩手県総合計画審議会において委員から出された主な御意見の反映状況

(事後にいただいた御意見を含む)

≪「長期ビジョン」(中間案)に対する御意見≫

1 「長期ビジョン」(案)に反映した主な御意見

No.	長期ビジョン 該当箇所(章)	御意見等の内容	反映状況(案)
1	第 5 章 政策推進の基本 方向 2 10 の政策分 野の取組方向 (1)健康・余暇 【みんなで取 り組みたいこ 事】	<p>「(1)健康・余暇」分野の「みんなで取り組みたいこと」について、視点が福祉や医療寄りとなっているが、「企業」に、働き方改革として、終業時間を短くすることや様々な就労形態という言葉盛り込んだほうが良いのではないかと。</p> <p>「(2)家族・子育て」分野の「みんなで取り組みたいこと」の「企業」には記載されているが、ひとり暮らしの方であってもこころのケアが必要である方や、健康上の問題を抱えている方などがいらっしゃる中で、「健康・余暇」に、企業が出来ることとして働き方を見直すという言葉があると良い。</p>	<p>長時間労働の是正や年次有給休暇取得の促進などの「働き方改革」については、健康でいきいきと働くために重要であることから、「(1)健康・余暇」分野の「みんなで取り組みたいこと」の「企業」に期待されることに追記しました。【長期ビジョン(案) P38】</p> <p>(変更前)【みんなで取り組みたいこと】 [企業] ○ 健康経営の実践、健康づくりや地域医療を支える県民運動への参画、高齢者や障がい者の雇用の促進などが期待されます。 ○ 多様な文化芸術・スポーツ活動への支援、参加に向けた環境の整備などが期待されます。</p> <p>(変更後)【みんなで取り組みたいこと】 [企業] ○ 健康経営の実践、健康づくりや地域医療を支える県民運動への参画、高齢者や障がい者の雇用の促進などが期待されます。 ○ <u>ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと実践、仕事と子育てが両立できる職場環境の整備などが期待されます。</u> ○ 多様な文化芸術・スポーツ活動への支援、参加に向けた環境の整備などが期待されます。</p>

No.	長期ビジョン 該当箇所（章）	御意見等の内容	反映状況（案）
2	(2) 家族・子育て 【みんなで取り組みたいこと】	<p>岩手県の男性は未婚率も高いので、「みんなで取り組みたいこと」の「企業」にも、出会い支援や結婚支援などを入れていただきたい。NPOや団体においては、出会いの場を設けるような活動をしているが、企業でも少しでもそういったことをやっていただければと思うので、文言を盛り込んでいただきたい。</p>	<p>結婚等に希望を持てる環境づくりについては、社会全体で取り組む内容であると認識しており、県においても企業等に対して働きかけを実施していることから、「みんなで取り組みたいこと」の「企業」に期待されることに、「企業における出会い・結婚支援」を追記しました。【長期ビジョン（案） P41】</p> <p>(変更前) 【みんなで取り組みたいこと】 [企業] ○ 仕事と生活・子育てが両立できる職場環境の整備、地域における子育て支援活動への支援などが期待されます。 ○ 地域における青少年健全育成活動や動物愛護活動等への支援などが期待されます。</p> <p>(変更後) 【みんなで取り組みたいこと】 [企業] ○ 仕事と生活・子育てが両立できる職場環境の整備、地域における子育て支援活動への支援などが期待されます。 ○ <u>社員の出会いや結婚を支援する機運の醸成、環境づくりが期待されます。</u> ○ 地域における青少年健全育成活動や動物愛護活動等への支援などが期待されます。</p>

No.	長期ビジョン 該当箇所（章）	御意見等の内容	反映状況（案）
3	(7)歴史・文化 【みんなで取り組みたいこと】	<p>「(7)歴史・文化」分野の「みんなで取り組みたいこと」について、各記載項目の後ろの文言が、「理解・継承に向けた取組への支援、情報発信」と、ほとんどが同じような形になっている。</p>	<p>各主体が一体となって取組を推進するため、各主体の記載内容の後半部分の表現を「理解・継承に向けた取組への支援、情報発信」としていましたが、各主体に期待される取組がより分かりやすくなるよう、表現を変更しました。【長期ビジョン（案） P61】</p> <p>(変更前) 【みんなで取り組みたいこと】</p> <p>[企業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産や伝統文化の<u>理解・継承</u>に向けた取組への支援、情報発信などが期待されます。 <p>[NPO]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産や伝統文化の<u>理解・継承</u>に向けた取組への支援、情報発信などが期待されます。 <p>[関係団体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産の適切な保存と活用、伝統文化の<u>理解・継承</u>に向けた取組への支援、<u>情報発信</u>などが期待されます。 <p>[市町村]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産の適切な保存と活用、伝統文化の<u>理解・継承</u>に向けた取組への支援、<u>情報発信</u>などが期待されます。 <p>(変更後) 【みんなで取り組みたいこと】</p> <p>[企業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産や伝統文化の理解・継承に向けた<u>各主体の広範な取組への支援</u>などが期待されます。 <p>[NPO]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産や伝統文化の理解・継承に向けた<u>各主体の広範な取組への協働</u>などが期待されます。 <p>[関係団体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産の適切な保存と活用に向けた<u>主体的な取組の展開</u>、伝統文化の理解・継承に向けた<u>主体的な取組の推進及び支援</u>、<u>国内外への情報発信</u>などが期待されます。 <p>[市町村]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産の適切な保存と活用、伝統文化の理解・継承に向けた取組や<u>関係団体等への支援、情報発信、文化財などを活用した地域づくりの推進</u>などが期待されます。

No.	長期ビジョン 該当箇所（章）	御意見等の内容	反映状況（案）
4	(10) 参画 (サブタイトルの説明文)	<p>NPOは、県以外の主体として色々なところに出てくる主体であるので、「参画」の冒頭の説明文に、NPOについても記載してもいいのではないかと。「8つの政策分野を支えるソフトパワーの強化」という言葉はあるが、NPOの記載があっても良いのではないかと。</p>	<p>NPOは、県以外の主体として、幅広い市民活動等に様々な役割が期待されていることから、「(10)参画」分野のサブタイトルの説明文に明記しました。【長期ビジョン（案） P68】</p> <p>(変更前) 男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などが活躍できる仕組みづくり、幅広い市民活動や県民運動の促進など、8つの政策分野を支えるソフトパワーの強化により、地域の魅力を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。</p> <p>(変更後) 男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などが活躍できる仕組みづくり、<u>NPOや関係団体等の多様な主体による</u>幅広い市民活動や県民運動の促進など、8つの政策分野を支えるソフトパワーの強化により、地域の魅力を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。</p>
5	①性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくれます	<p>「LGBT」という言葉について、「政策推進プラン」に落とし込まれたということは理解した上で、「長期ビジョン」に記載されていないことは気になる。</p> <p>「幅広い市民活動」だけでは、LGBTの方々の活動に思い至ることもない。盛岡でも比較的大きなパレードが開かれていたが、そもそもLGBTの方々は、市民権を得ていないと感じているからこそパレードをしているのであり、そういったことを踏まえれば、「LGBT」という言葉をあえて盛り込まなければいけないのではないかと。</p>	<p>男女共同参画の視点、人権尊重の観点から性的指向や性自認を理由として困難な状況に置かれている人に対する配慮が必要と考えています。</p> <p>このため、LGBTなど性的指向や性自認に不安や悩みを抱えている方への対応を踏まえ、「多様な性」に表現を修正しました。【長期ビジョン（案） P68】</p> <p>(変更前) ①性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくれます ア 男女平等や<u>お互いの性の違い</u>を理解し、尊重する社会となるよう、<u>男女が共に生きやすく、多様な生き方が認められる男女共同参画社会</u>に向けた環境づくりを進めます。</p> <p>(変更後) ①性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくれます イ 男女平等や<u>多様な性について</u>理解し、尊重する社会となるよう、<u>共に生きやすく、多様な生き方が認められる男女共同参画社会</u>の実現に向けた環境づくりを進めます。</p>

No.	長期ビジョン 該当箇所（章）	御意見等の内容	反映状況（案）
	第6章 新しい時代を切り拓くプロジェクト		
6	全体	<p>「健幸づくり」や「人交密度」という言葉は、県で今後10年間使うと思うが、通常の子とは異なるので、使う場合には、こういう意味を込めて使うということを、誤植ではないかと言われないうちにも記載すべきではないか。新しい考え方を提示する場合には、是非こういうことを指すということを強く主張した上でお使いいただきたい。</p>	<p>「健康」は一般的に使われている言葉ですが、「健幸」につきましては、個々人が健康かつ生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができることを意味する言葉であることを、注釈として付記しました。【長期ビジョン（案）P90】</p> <p>また、「人交」は、多様な主体との交流の拡大を生かした、関係人口の質的・量的な拡大を図るプロジェクトとして「人口減少対策」と「交流人口の拡充」をかけて、人「交」密度向上プロジェクトとしているものであることを、注釈として付記しました。【長期ビジョン（案）P102】</p> <p>さらに、より分かりやすくなるよう、計画本文のプロジェクト名の「健幸」、「人交」に、それぞれ振り仮名を付し、「^{けんこう}健幸」、「^{じんこう}人交」としました。</p> <p>(変更前)</p> <p>7 健幸づくりプロジェクト (注釈欄) (記載なし)</p> <p>11 人交密度向上プロジェクト (注釈欄) (記載なし)</p> <p>(変更後)</p> <p>7 ^{けんこう}健幸づくりプロジェクト (注釈欄) <u>健幸：個々人が健康かつ生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができること。</u></p> <p>11 ^{じんこう}人交密度向上プロジェクト (注釈欄) <u>人交密度：短期的な交流人口のほか、長期的な定住人口につながる地域や地域の人々と多様に関わる者でもある「関係人口」について、「人数（量的）」と「関係の強さ（質的）」の両面に着目し、用いた言葉。なお、「関係人口」における「関係」については、特産品購入から、ふるさと納税などの寄付、頻繁な訪問、現地ボランティア活動、二地域居住まで様々な形が想定されるもの。</u></p>

No.	長期ビジョン 該当箇所（章）	御意見等の内容	反映状況（案）
7	2 北上川バレープロジェクト	<p>「北上川バレープロジェクト」は、今の県にとって非常に重要である。具体的な内容については、色々な方々の御意見をいただいて、多少変わるとは思うが、方向としては非常に素晴らしいのではないかと。</p>	<p>「北上川バレープロジェクト」については、産業集積が進み、今後、新たな雇用の創出と、これに伴う人口の増加が見込まれる北上川流域において、さらに働きやすく、暮らしやすいエリアの創出を目指すものであり、関係団体、市町村をはじめ多様な主体とビジョンを共有しながら推進していく必要があることから、幅広く御意見をいただきながら検討を進めてきたところであり、「長期ビジョン」（案）において、具体化した内容を盛り込みました。【長期ビジョン（案） P75～77】</p> <p>（変更前） （記載なし：項目の柱建てのみ）</p> <p>（変更後） （記載内容を具体化）</p>
8	4 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト	<p>「プラチナゾーンプロジェクト」の取組について、一部は、アパレル活用などの県北の話であるが、その他の多くは、特に県北でなくてもできそうな話が並んでいる。あえて「県北」という言葉を入れるのであれば、こういう理由で県北で進めていくという解説文があれば、より納得していただけるものになるのではないかと。</p>	<p>プロジェクトの背景として、「2 課題と展望」に、県北地域で当該プロジェクトを行う必要性と地域の特徴を盛り込みました。</p> <p>また、「県北プラチナゾーン」について、学術的に使われるプラチナ社会のイメージが強く、プロジェクトで目指す姿が伝わりにくいことから、プロジェクトの方向性等を端的に示す名称として、「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」に変更しました。【長期ビジョン（案） P81】</p> <p>（変更前）<u>県北プラチナゾーンプロジェクト</u> （記載なし）</p> <p>（変更後）<u>北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト</u></p> <p><u>2 課題と展望</u></p> <p><u>ア 北いわては、豊かな地域資源を有する一方で、全県に先行して人口減少と高齢化が進行していることから、産業分野における生産性の向上や、若者・女性・シニアの活躍の推進、生活分野における中山間地域での持続可能な社会の形成や、特徴的な歴史や文化などを生かした地域の活性化に取り組むことが必要です。</u></p> <p><u>イ 高速道路や北海道新幹線の延伸などの高速交通網の進展や、花巻空港をはじめ近隣の地方空港における国際便の就航、さらには「北海道・北東北の縄文遺跡群」の取組など4道県の連携の進展を好機と捉え、交流人口の拡大につなげる必要があります。</u></p> <p><u>ウ 国のエネルギー計画には再生可能エネルギーの主力電源化を目指すことが明記され、さらに民間企業における再生可能エネルギーの利用が増加しており、北いわての豊富な再生可能エネルギー資源を生かし地域の活性化につなげる必要があります。</u></p>

No.	長期ビジョン 該当箇所（章）	御意見等の内容	反映状況（案）
9	第7章 地域振興の展開 方向 2 4 広域振興 圏の振興 県南広域振興圏 【取組方向】	<p>「DMOなどの関係機関と連携し」と、DMOに触れているが、DMOについては、市町村でDMOをつくると考えている市町村と、今の観光協会を中心にしてもう少し広げて観光を考えるという両方があるので、必ずしもDMOだけに限ったような表現にしないほうが実態に合うのではないか。</p>	<p>観光振興に当たっては、DMOや観光事業者のみならず、文化、食産業、農業、交通等の関係団体との連携を想定していることから、取組方向の「(3)世界遺産『平泉の文化遺産』をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域」の「①地域の魅力の発信による交流を広げます」における海外との相互交流に関する記載内容を、「観光地域づくり推進法人（DMO）などの関係団体」として対象を広げました。【長期ビジョン（案） P113】</p> <p>(変更前) ①地域の魅力の発信による交流を広げます エ 多くの外国人観光客などに訪れてもらえるよう、観光地域づくり推進法人（DMO）と連携し、教育機関や国際リニアコライダー（ILC）など幅広い分野での海外との相互交流を推進します。</p> <p>(変更後) ①地域の魅力の発信による交流を広げます エ 多くの外国人観光客などに訪れてもらえるよう、観光地域づくり推進法人（DMO）<u>などの関係団体</u>と連携し、教育機関や国際リニアコライダー（ILC）など幅広い分野での海外との相互交流を推進します。</p>
10	【取組方向】	<p>第2章「岩手は今（現状認識・展望）」の「(3)岩手の可能性」の「⑥仕事・収入」分野の「強み・チャンス」では、「金色の風」と「銀河のしずく」の両方が記載されているのに、県南広域振興圏の取組方向には、「銀河のしずく」が記載されていないので、入れていただきたい。</p>	<p>県オリジナル水稻新品種について、県南圏域では、「金色の風」のほか、花巻・北上地域を中心として「銀河のしずく」の導入を推進していることから、「(4)米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域」の「①企業的経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます」に、「銀河のしずく」を追加しました。【長期ビジョン（案） P114】</p> <p>(変更前) ①企業的経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます イ 競争力の高い米産地の育成に向け、「金色の風」などの高品質・良食味米の安定生産やブランド化を図るとともに、大規模機械化体系の導入などによる低コスト生産を促進します。</p> <p>(変更後) ①企業的経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます イ 競争力の高い米産地の育成に向け、「金色の風」、「銀河のしずく」などの高品質・良食味米の安定生産やブランド化を図るとともに、大規模機械化体系の導入などによる低コスト生産を促進します。</p>

2 第1期アクションプラン（中間案）に反映した主な御意見

No.	長期ビジョン 該当箇所（章）	御意見等の内容	反映状況
1	第8章 行政経営の基本 姿勢	<p>「行政経営」のところが弱いと思う。福祉の領域からすると、生まれてから老いるまでをトータルケアする、ソーシャルインクルージョンしていくという捉え方で考えた時に、県行政の中でそういった役割を担う人は誰と言われた時に、どこのセクションというのが見当たらない。福祉総合力をしっかりと捉えたアプローチができる、いわゆるジェネラリストが、今後ますます県の福祉関係部局の中にもいなければならないだろうし、それを市町村に対してきちっとアプローチできるような人材を養成していくということが、岩手らしさをもっと明確にしていく一つの起爆剤ではないか。</p> <p>市町村との連携、協働というところと開かれた県行政を担う職員を確保・育成することに関し、福祉領域については、総合マネジメントできる人材、ジェネラリストを養成していくというところは、もっと特化していかなければならない部分ではないか。</p>	<p>「長期ビジョン」（案）においては、事務職・技術職に関わらず職員全体について、計画的なキャリアマネジメントや、OJTによる知識・技術の習得とOff-JT（業務を離れた研修）を有効活用したキャリア開発を通じた職員の能力向上について記載しています。</p> <p>また、地域における多様な福祉ニーズに対応していくためには、福祉領域におけるジェネラリストを養成していくことが重要と考えており、社会福祉や心理などの専門職について専門性を高めるとともに、企画や予算などの業務を経験させることにより、全庁的な視野を持ち、県政課題に対応できる職員の育成について、「行政経営プラン（仮称）」（中間案）に盛り込みました。【行政経営プラン（中間案）P35～40】</p>
2	2 行政経営の基本的な考え方と取組方向	<p>全体的に、例えば、「県内外の自治体との広域連携」という言葉で表現されているが、大きい広域連携というよりは、もう少し小さな範囲に県のバックアップがあり、県内33市町村が、まずは地域の中で連携し合うことができることが重要ではないか。例えば、地域に根差した活動を行う団体に対して活動を支援することができるような各市町村の支援など、ニュアンスとしては内側と外側、外側と内側がつながるというだけではなくて、内側同士が協働しますという文章が一言でも入っていればありがたい。</p>	<p>人口減少に伴い自治体の経営資源が制約される中、県民ニーズに応える行政サービスを提供していくためには、県と市町村はもとより、市町村相互、県外自治体との連携が重要と考えており、【「4本の柱」と取組方向】の「(1)地域意識に根ざした県民本位の行政経営の推進」における「③地方分権や県外自治体との連携を推進します」の中で、全国の自治体等との連携の推進について記載している他、「②市町村との連携・協働を推進します」において、市町村相互や県と市町村の一層の連携の推進について記載しています。</p> <p>また、「行政経営プラン（仮称）」（中間案）に、市町村間の広域連携の促進を盛り込み、市町村のニーズに応じた広域連携を進めていきます。【行政経営プラン（中間案）P25～29】</p>

3 今後、計画の推進に当たって参考とする主な御意見

No.	区分	御意見等の内容	反映状況
1	はじめに 4 計画推進の考え方 (1) 政策評価に基づく「政策推進プラン(仮称)」の進捗管理	「取組の成果の評価結果を県民と共有し」とあるが、県政にあまり興味を持っていない若者や女性などの参画をぜひ促していただきたい。女性や若者には発想も期待できると思うので、そういった方々に働きかけられるような評価結果、共有の場を設定していただきたい。	女性や若者を含め、広く県民の皆さんの意見を評価に反映させるため、ワークショップ形式で県民の皆さんから幸福に関する実感等を意見交換する場を設定する予定です。
2	第6章 新しい時代を切り拓くプロジェクト	「長期ビジョン」の1章から3章までは基本的な前提の部分で、以降の章で具体的な話となり、4章の復興に関しては「復興推進プラン」、5章については「政策推進プラン」、7章は地域ごとの「地域振興プラン」、8章は「行政経営プラン」があるわけだが、6章のプロジェクトに関わるプランがない。6章の具体化についてはどのような手順を考えているのか。	新しい時代を切り拓く11のプロジェクトについては、計画期間内での一定の成果を目指しつつ、計画期間を超える長期的な視点に立ち、更なる技術革新や社会経済環境の変化等を踏まえつつ実現を目指していくものです。 このため、11のプロジェクトについては、「アクションプラン」とは別に進捗状況を管理し、それぞれの目指す将来像に向けた取組を着実に推進していくこととし、今般の「長期ビジョン」(案)において、各プロジェクトに「工程表」を盛り込みました。

≪「政策推進プラン（仮称）」（素案）に対する御意見≫

1 「政策推進プラン（仮称）」（中間案）等に反映した主な御意見

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況（案）
1	全体	<p>「長期ビジョン」と「政策推進プラン」の関係について、「政策推進プラン」の「VI仕事・収入」の政策項目 31 にある「⑥いきいきと働き続けるための健康づくりの推進」に対応する内容が「長期ビジョン」には明確には書かれてない。政策項目 33 にある「⑥ものづくり産業人材の育成・確保・定着」も「長期ビジョン」には明確な記述がないが、どういう考え方なのか。</p> <p>4年後に、次の「アクションプラン」をつくる時はともかく、第1期の際には、整合性とした方が良いのではないか。</p>	<p>御指摘の2項目については、「政策推進プラン」において、同じ項目を2つの分野（「いきいきと働き続けるための健康づくりの推進：政策項目9の③と政策項目の31の⑥」、「ものづくり産業人材の育成・確保・定着：政策項目18の④と政策項目33の⑥」）の具体的推進方策に記載していたことから、「長期ビジョン」の記載内容に合わせ、一方（VI仕事・収入）の具体的推進方策項目を削除し、整合を図りました。</p> <p>なお、取組レベルでは、関連する他項目内に追記しました。</p> <p>(変更前)</p> <p>31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を發揮できる環境をつくります</p> <p>⑥ いきいきと働き続けるための健康づくりの推進 【政策推進プラン(中間案) P149】</p> <p>33 国際競争力が高く、地域の産業・雇用に好循環をもたらすものづくり産業を盛んにします</p> <p>⑥ ものづくり産業人材の育成・確保・定着 【政策推進プラン(中間案) P160】</p> <p>(変更後)</p> <p>(削除)</p>
2	I 健康・余暇	<p>復興に関連し、震災後のこころのケアの問題について、「長期ビジョン」には復興の章立てがあるが、「政策推進プラン」には復興の問題の記載がない。「長期ビジョン」で掲げる復興の取組の原則に必要なこころのケアなどの取組については、継続して実施していく必要があるので、「政策推進プラン」にも、震災後のこころのケアの視点を是非盛り込んでいただきたい。</p>	<p>被災者のこころのケアなど、東日本大震災津波からの復興に関する取組については、「復興推進プラン（仮称）」（中間案）に盛り込みました。</p> <p><u>【復興推進プラン（中間案） P15】</u></p> <p><u>取組項目No.7 健康の維持・増進、こころのケアの推進や要保護児童への支援</u></p> <p><u>②被災者のこころのケアの推進</u></p> <p>なお、「政策推進プラン（仮称）」においては、「I 健康・余暇」分野の「1生涯にわたり心身ともに健やかに生活できる環境をつくります」に「②こころの健康づくりの推進」を盛り込んでおり、精神疾患に関する正しい知識の普及・啓発など、こころの健康づくり全般の取組を進めていきます。【政策推進プラン（中間案） P8】</p>

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況（案）
	Ⅲ 教育 13 【体育】児童 生徒の健やかな 体を育みます		
3	現状と課題	<p>総合型地域スポーツクラブの後に「等」を入れてはどうか。「等」がないと、受け皿が総合型だけになってしまう感じになるのではないかと。</p>	<p>総合型地域スポーツクラブのほか、民間のスポーツクラブなども受け皿となるため、「総合型地域スポーツクラブ等」に表現を変更しました。【政策推進プラン（中間案）P70】</p> <p>(変更前)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動は、生徒の多様な学びの場としての重要な意義を持つ一方で、長時間練習や教職員の多忙化などの弊害も指摘されており、適切な部活動を推進していくとともに、地域での受け皿となる<u>総合型地域スポーツクラブ</u>との連携を図っていく必要があります。 <p>(変更後)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動は、生徒の多様な学びの場としての重要な意義を持つ一方で、長時間練習や教職員の多忙化などの弊害も指摘されており、適切な部活動を推進していくとともに、地域での受け皿となる<u>総合型地域スポーツクラブ等</u>との連携を図っていく必要があります。
4	<p>県が取り組む具体的な推進方策（工程表）</p> <p>②適切な部活動体制の推進</p>	<p>「地域スポーツクラブ」とあるが、「現状と課題」の記載内容を踏まえると「総合型地域スポーツクラブ」ではないか。あるいは意識して「地域スポーツクラブ」としたのか。</p>	<p>総合型地域スポーツクラブのほか民間のスポーツクラブなども含め「地域スポーツクラブ」と表現しておりましたが、「スポーツクラブ」の表現の統一を図るため、「総合型地域スポーツクラブ等」に表現を変更しました。【政策推進プラン（中間案）P71】</p> <p>(変更前)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の方針等の共通理解を図るため、教職員や保護者、外部指導者による学校部活動連絡会の開催や<u>地域スポーツクラブ等</u>と連携した部活動指導員の研修などに取り組みます。 <p>(変更後)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の方針等の共通理解を図るため、教職員や保護者、外部指導者による学校ごとの部活動連絡会の開催や関係団体及び<u>総合型地域スポーツクラブ等</u>との連携推進会議を開催します。

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況（案）
5	<p>Ⅲ 教育 13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます</p> <p>県以外の主体に期待される行動</p>	<p>「地域総合型スポーツクラブの運営」は、「総合型地域スポーツクラブの運営」ではないのか。</p>	<p>総合型地域スポーツクラブのほか民間のスポーツクラブなども含め「地域スポーツクラブ」と表現しておりましたが、「スポーツクラブ」の表現の統一を図るため、「総合型地域スポーツクラブ等」に表現を変更しました。【政策推進プラン（中間案）P72】</p> <p>(変更前) 県以外の主体に期待される行動（地域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校部活動と連携した<u>地域総合型スポーツクラブ</u>の運営 <p>(変更後) 県以外の主体に期待される行動（地域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校部活動と連携した<u>総合型地域スポーツクラブ等</u>の運営
6	<p>Ⅲ 教育 19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます</p> <p>県が取り組む具体的な推進方策（工程表）</p> <p>⑥スポーツ活動を支える指導者等の養成</p>	<p>「指導者の資質向上を図るため」とあるが、当項目では、競技力向上に係る指導者をイメージしているため、文のはじめに「競技を担う」を追記し、「競技を担う指導者の資質向上を図るため」とすべきではないか。</p>	<p>当項目において記載している「指導者」については、競技力向上に係る指導者のことであるため、より分かりやすい表現となるよう、「アスリートの競技力向上を担う指導者」に変更しました。【政策推進プラン（中間案）P99】</p> <p>(変更前) ⑥スポーツ活動を支える指導者等の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>指導者の資質の向上</u>を図るため、関係団体と連携し、全国トップレベルの優秀な指導者による研修の実施や本県トップコーチの中央研修への参加等への支援に取り組みます。 <p>(変更後) ⑥スポーツ活動を支える指導者等の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>アスリートの競技力向上を担う指導者の資質の向上</u>を図るため、関係団体と連携し、全国トップレベルの優秀な指導者による研修の実施や本県トップコーチの中央研修への参加等への支援に取り組みます。
7	<p>⑥スポーツ活動を支える指導者等の養成</p>	<p>「障がい者スポーツ指導者の育成のため、関係団体と連携し、専門的知識や実技等を習得する研修の実施などに取り組みます。」とあるが、文章の主語が分からない。「障がい者スポーツにおける指導者の育成のため」ではないか。</p>	<p>当項目において記載している「指導者」については、障がい者のスポーツ活動全般に係る指導者のことであるため、より分かりやすい表現となるよう、「障がい者のスポーツ活動を担う指導者」に変更しました。【政策推進プラン（中間案）P100】</p> <p>(変更前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>障がい者スポーツ指導者の育成</u>のため、関係団体と連携し、専門的知識や実技等を習得する研修の実施などに取り組みます。 <p>(変更後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>障がい者のスポーツ活動を担う指導者の育成</u>のため、関係団体と連携し、専門的知識や実技等を習得する研修の実施などに取り組みます。

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況（案）
8	<p>Ⅲ 教育 19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます</p> <p>県が取り組む具体的な推進方策（工程表） ⑥スポーツ活動を支える指導者等の養成</p>	<p>地域のスポーツ活動は、スポーツ推進委員よりスポーツ指導者が担っているため、「スポーツ推進委員等」を「スポーツ推進委員やスポーツ指導者等」としてはどうか。</p>	<p>地域のスポーツ活動を担っている指導者の代表例を「スポーツ推進委員」とし、その他の指導者については「等」と表記していましたが、より分かりやすい表現となるよう、例示を追記し、「(公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等」に表現を変更しました。【政策推進プラン（中間案） P100】</p> <p>(変更前) ⑥スポーツ活動を支える指導者等の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のスポーツ活動を担う<u>スポーツ推進委員等</u>の資質向上を図るために、市町村と連携し、研修・研究大会の実施などに取り組むとともに、地域のスポーツイベントの活性化を図るため、関係団体と連携し、ボランティアの活動を促進します。 <p>(変更後) ⑥スポーツ活動を支える指導者等の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のスポーツ活動を担う<u>スポーツ推進委員や(公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等</u>の資質向上を図るために、市町村等の関係団体と連携した研修等の実施などに取り組むとともに、地域のスポーツイベントの活性化を図るため、関係団体と連携し、ボランティアの活動を促進します。
9	<p>Ⅵ 仕事・収入 32 地域経済を支える中小企業の振興を図ります</p> <p>県が取り組む具体的な推進方策 ①中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進</p>	<p>ICT利活用について、中小企業の項目にこそICTの利活用を前面に謳うことが大切である。ICTは万能ではないが、人手不足や後継者などの様々な問題の解決に活用できる。</p> <p>また、女性だけではなく、地域で生きる上で、テレワークによる産業の振興等を考える際、ICTというのは避けて通れないものであり、むしろ重要なものである。岩手の中小企業では、インターネットやパソコンの導入も全国平均より低く、スマホの利用状況も低い中にあるので、是非、ICTを利活用した中小企業の活性化を図っていただきたい。</p>	<p>ICTを利活用した中小企業の活性化については、中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進において重要であることから、具体的な推進方策に、「ICTの利活用」支援を盛り込みました。【政策推進プラン（中間案） P154】</p> <p>(変更前)</p> <p>①中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術の高度化や新技術開発、販路開拓、資金調達など企業ニーズに応じた重層的な支援を行います。 <p>(変更後)</p> <p>①中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術の高度化や新技術開発、<u>ICTの利活用</u>、販路開拓、資金調達など企業ニーズに応じた重層的な支援を行います。 <p>なお、「Ⅸ社会基盤」分野の「いわて幸福関連指標」に、誰もがICTサービスを利用できる状態を表す指標として、「①モバイル端末（スマートフォン）の人口普及率」を追記しました。【政策推進プラン（中間案） P233】</p>

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況（案）
10	<p>X 参画</p> <p>指標項目 ①労働者総数に占める女性の割合</p>	<p>「49 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくれます」の「現状と課題」に記載があるように、すでに「平成 27 年国勢調査によると、岩手県の女性労働人口は全国平均を上回っている」となっている。平均収入が低い岩手県では、既婚・未婚に関わらず、女性も働かなければ家計が支えられない状況が多く、決して「就労＝キャリア形成＝自己実現」となっていないことが問題と考える。</p> <p>よって、「労働者総数に占める女性の割合」の指標項目で、「高い割合で女性が就労している」と出ても、それが決して今回のテーマである「幸せ」と結びつかないのではないか。</p> <p>また、就業形態も様々な中、単に「労働者総数に占める女性の割合」だけでは、決して「女性参画」が進んでいるかどうかの指標にはならず、今後、女性参画を推進するための政策を考えて行く中で必要な情報が得られないのではないか。</p>	<p>女性の参画を示す指標としては、職業生活における活躍の観点から「労働者総数に占める女性の割合」を、政策・方針決定過程への参画の観点から「審議会等委員に占める女性の割合」の2つを指標案としたところです。</p> <p>一方で、高い割合で女性が就労していることのみで女性の参画の程度を全て網羅できるとは限らないことから、新たに、「管理職に占める女性の割合」を、長期的に推移を把握する参考指標案に選定しました。【政策推進プラン（中間案） P 253】</p> <p>(変更前) (記載なし)</p> <p>(変更後) <u>【参考指標】 管理職に占める女性の割合</u></p>

2 「政策推進プラン（仮称）」（案）への反映に向けて検討していく御意見

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況（案）
1	Ⅲ 教育 指標項目	大学の立場からすると、高校から大学の進学率は、岩手は低い状況であり、それをどう上げていくのという指標を入れるべきではないか。	中間案においては、社会が多様化する中で、高校卒業後の進路も多様であり、大学進学率だけで岩手の高校生の学力向上を図ることは適切でないと考えられること、また、受験競争を助長することも懸念されることから指標案として選定していませんでしたが、今後のパブリック・コメント等を通じて県民の皆さんから御意見も伺いながら、引き続き検討を進めていきます。
2	Ⅵ 仕事・収入 指標項目 ⑫グリーン・ツーリズム交流人口	指標項目の⑫において、「グリーン・ツーリズム交流人口」が指標に上がってきたが、「仕事・収入」分野の指標として、適切な項目ではないのではないかと。	政策分野ごとに設定する指標は、各政策分野に含まれる50の政策項目に関連する指標をそれぞれ設定することとし、中間案において「Ⅵ仕事・収入」分野に設定した「グリーン・ツーリズム交流人口」は、地域が主体となった都市との交流活動等の取組を促進することなどを基本方向とした、政策項目「39一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります」に関連する指標案として選定したのですが、今後のパブリック・コメント等を通じて県民の皆さんから御意見も伺いながら、引き続き検討を進めていきます。

3 今後、計画の推進に当たって参考とする主な御意見

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況
1		<p>計画で掲げる取組を進めるに当たり、人が足りるのかというのが率直な感覚である。労働力人口がどんどん減っていくという中で、各産業横断的にどう人材を確保していくのかということは非常に大きな課題である。計画には女性や若者の活躍が散りばめられているが、元気な高齢者の方々が活躍、就労できるというビジョンが、「参画」分野以外にあっても良いのではないか。</p>	<p>高齢者の活躍等については、政策分野「X参画」のほか、「I健康・余暇」において、文化芸術活動やスポーツへの参加、生涯を通じて学び続けられる環境づくりについて盛り込んでいるほか、「VI仕事・収入」において、ライフステージに応じた新しい働き方ができる環境整備を促進していきます。</p>
2	全体	<p>「SDG s」の目標は産業にもつながっていく 17 項目であり、その下に 169 のターゲットがぶら下がっている。そういう中で総合計画をつくるのであれば、例えば、「SDG s」の何番に相当するというようなものがあると、リンクして、世界的な一つの目標に対して県もこう取り組むということを示せるのではないか。「SDG s」は幸福追求とすごく関係しており、岩手も評価されるのではないか。</p>	<p>「持続可能な開発目標（SDG s）」は、「誰一人として取り残さない」の理念のもと、経済・社会・環境の課題を統合的に解決することを目指すものであり、こうした理念や開発目標は、次期総合計画におけるお互いに幸福を守り育てようとする考え方に相通じるものです。</p> <p>計画の推進に当たっても、「幸福」と「SDG s」を関係付けながら、持続可能な社会の実現に向けた取組を岩手から進めていきたいと考えています。</p>

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況
3	Ⅲ 教育	<p>岩手県では、この10年間で150の学校が統廃合でなくなり、今後ますます減少するような状況であり、その中で、おそらく学びの個別の適正化や、学校自体のあり方、学び方自体がもっと大きく変わっていくと思う。「政策推進プラン」では、「〇〇人材を育成します」ということがそれぞれの項目ごとに書かれているが、社会課題の解決に対応できる人材の育成や、柔軟に今まで当たり前だったことの意識を変革していくということが重要である。各機関がバラバラに取り組むのではなく、ITスキルなどの様々なスキル、歴史・文化も含めた様々な知識、経験を持っている大人の多様な世代など、様々な教育資源と学校をつなげていただきたい。</p> <p>また、教育施策において、グローバル人材の育成などは、一部の優秀な、放っておいてもどんどん伸びて、将来的に県外で活躍するような子たちばかりが受けるようなイメージもあるので、全ての子供たちにそういう機会が与えられるような配慮をしていただきたい。</p>	<p>新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を重視しており、地域の人的・物的資源の活用や、社会教育との連携など、種々の教育資源の活用を進めていきます。</p> <p>また、グローバル人材の育成については、小学生や中学生に英語を使用する体験を目的とした英語合宿の機会を拡大させるとともに、受講した児童生徒が学校に戻り、他の児童生徒達への興味関心につながる工夫や、各学校における外国語教育の充実を図っていきます。</p>
4	Ⅲ 教育 18 地域に貢献する 人材を育てます	<p>伝統文化の理解・継承に向けた取組への支援、情報発信のためには人材育成が必要不可欠である。地域でも人材育成をしなければならないし、学校教育においても郷土学習等をしながら人材を育てていく、岩手を好きな子供を増やしていくということが今後の岩手県を支えていく人材育成になると思うので、そういう視点を持った人材育成という観点が必要なのではないか。育った岩手県を好きであるという形になることが必要であるし、自分の住んでいるまちの良いところは何だろうということを常に考えさせるような教育をしていくことが、社会に出た時に、また岩手に帰って、子育てをしたい、家庭を持ちたいと思えるような県、市町村、地域になるという形が基本であると思う。地域を理解するという活動を掲げていかなければ伝統文化の継承をする人材が岩手で育っていくということにならないので、その辺りの視点を考えていただきたい。</p>	<p>子どもたちが郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する意識を醸成することについては、学校と地域が連携して取り組んでいくことが重要であることから、具体的な推進方策に、学校と地域が連携し、岩手の歴史や偉人、豊かな自然・文化等を探求する学習や、地域活動への積極的な参加などを盛り込み、取り組んでいきます。</p>

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況
5	<p>IV 居住環境・コミュニティ 24 岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進します</p> <p>県が取り組む具体的な推進方策 ①岩手ファンの拡大とU・Iターンの促進</p>	<p>移住・定住における高卒、大卒の地元定着の関連項目において、Uターン者をどう捉えるかはぜひ議論いただきたい。UとIの捉え方はしっかり区別するべきであると思うので、盛り込み方について検討いただきたい。</p>	<p>Uターン者については、岩手を離れてもまた戻ってきたいというふるさとへの愛着を育てるための取組や、県内の仕事や企業に関心を持ってもらうための取組が必要であり、また、Iターン者については、岩手での暮らしのイメージや魅力に関する情報発信が重要であることから、具体的な推進方策に「岩手U・Iターンクラブ」加盟大学などと連携した就職相談やインターンシップなどの推進、訴求力の高い情報発信や移住体験施策の充実などを盛り込み、U・Iターンの促進に取り組んでいきます。</p>
6	<p>IV 居住環境・コミュニティ 24 岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進します</p> <p>県が取り組む具体的な推進方策 ①岩手ファンの拡大とU・Iターンの促進</p>	<p>岩手ファンの拡大において、U・Iターンの促進と記載されているが、昨今、国でも関係人口というワードが出てきて、県でも今、モデル事業をやっているが、そういった関係人口という捉え方もこの機会に整理いただきたい。</p>	<p>関係人口については、交流イベントや複業等を通して、地域と多様に関わりながら、将来的には移住・定住につなげていきたいと考えていることから、具体的な推進方策に岩手ファン・関係人口の拡大を盛り込み、優良事例の普及啓発などにより、その拡大を図っていきます。</p>
7	<p>IV 居住環境・コミュニティ 25 海外の多様な文化を理解し、共に生活できる地域づくりを進めます</p> <p>県が取り組む具体的な推進方策</p>	<p>外国人をどう扱うかというのが非常に大きいと思う。外国人観光客というスタンスは見えるが、定住した外国人が、生きがいを持って岩手に住みついてくれるということが一つの方法であり、大学も留学生を増やして日本のために働いてくださいということを言いはじめていますが、県においても、人材確保面から、もう少し何か工夫をしていただきたい。</p>	<p>外国人の移住・定住については、国の政策による面が大きいです。が、人材確保の面から、外国人留学生等の県内就職促進に向けた取組も必要であることから、政策項目 18「地域に貢献する人材を育てます」の具体的な推進方策に「⑩地域産業の国際化に貢献する人材の育成」を盛り込み、県内企業と留学生等のマッチングやインターンシップの機会の提供に取り組んでいきます。</p>

No.	政策推進プラン 該当箇所	御意見等の内容	反映状況
8	<p>VI 仕事・収入 38 農林水産物の付加価値を高め、販路を広げます</p> <p>県が取り組む具体的な推進方策 ①県産農林水産物の高付加価値化と販路の開拓・拡大の推進</p>	<p>農林水産業について、良いものをつくってブランド化して、生産性を上げてということもあるが、農業者も、漁業者も、林業に関わっている方も、出口の部分をもっとしっかり自分たちで意識し、理解して取り組むということもこれから必要になっていくと思う。今までの、とったものをJAや漁協に預けてということが変わってきて、特に水産業は今までとれていたものがとれなくなっている。そうすると売り方を変えていかないといけないなど、すごく不安なところが多いので、若手の方たちなどが、自分たちがつくっているもの、とったもの、それをどういう形で売っていくかが分かって、できるようにもしてあげるといふ部分を売り込んでいただきたい。</p>	<p>農林水産業の振興に向けては、農林水産物の高付加価値化や新たな販路の開拓・拡大に向けた取組を進めるとともに、生産者の意識や理解を高めていくことが重要であることから、具体的な推進方策に、県産農林水産物の付加価値を高め、国内外に販路を広げるための、安全・安心で高品質な県産農林水産物の評価・信頼の向上や6次産業化等による特産品開発などを盛り込み、取り組んでいきます。</p>
9	<p>IX 社会基盤 45 科学・情報技術を活用できる基盤を強化します</p> <p>県が取り組む具体的な推進方策 ③ICT利活用による地域課題の解決と県民利便性の向上</p>	<p>岩手県をICTの先進県にするため、プログラミングなど、ICTの人材育成を具体的に県として進めていただきたい。</p> <p>特に、2020年には小学校でのプログラミング教育が必修化され、若者たちはデジタルネイティブやスマホネイティブが多くいる一方、今、家庭に入っている女性や高齢者はITスキルに劣っている面があると思うので、例えば、県の補助による教育の機会を設けるとか、シルバー大学校などの高齢者がいきいきと暮らしていくための教育の場の提供などの施策を入れていただきたい。</p>	<p>ICTの利活用を推進していく上で、高齢者を含む県民の情報リテラシーの向上や、ICTを有効に活用するための人材育成は重要な課題であることから、具体的な推進方策に県民、企業等への普及・啓発を盛り込み、取り組んでいきます。</p>